

花矢図書館だより

2021



大館市立花矢図書館

Tel・Fax 0186-46-1557

火～金：9:00～19:00

土・日：9:00～17:00

新着図書

〔一般書〕

- ・マイナンバーとマイナポイントを賢くつかう本
- ・シニア六法 (住田 裕子)
- ・人生は七転び八起き (内海 桂子)
- ・天離り果つる国 上/下 (宮本 昌孝)
- ・銀齡探偵社 静おばあちゃんと養護探偵 2 (中山 七里)
- ・自転しながら公転する (山本 文緒)
- ・絵ことば又兵衛 (谷津 矢車)
- ・デルタの羊 (塩田 武士)
- ・命の砦 (五十嵐 貴久)
- ・信州・諏訪湖連続殺人 (梓 林太郎)
- ・もう、聞こえない (菅田 哲也)
- ・善医の罪 (久坂部 羊)
- ・相剋 越境捜査 (笹本 稜平)
- ・夜明けのすべて (瀬尾 まいこ)
- ・乱 都 (天野 純希) 他

〔児童／中学生〕

- ・おばけのうんどうかい (むらい かよ)
- ・ママ、どっちがすき? (絵本)
- ・ためきのいとぐるま (絵本)
- ・どうしてしっぽがないの? (絵本)
- ・あっこきぶりだ! (絵本) 他

◆おすすめ図書◆

『善医の罪』

久坂部 羊 著

くも膜下出血で意識不明の重体で運ばれてきた、横山達男。彼の手術の執刀医の白石ルネは、これ以上の延命治療は難しいと、本人の意思もあり、家族の同意のもと、治療を中止することを決意する。

三年後、カルテと看護記録の食い違いが告発され、事態は思はぬ方向へと転がっていく。

『かしたつもり×もらったつもり』

かさい まり 作

大切なきょうりゅうずかんを、れんは、友だちのだいちに貸したつもりだった。だけど、だいちももらったつもりだった。

勘違いの原因は、大きな工事現場の音。聞き間違い、勘違いからはじまる男子のけんかと仲直りの物語です。



【今月のあれこれ】



○初夢○

見ると縁起がいいといわれる「一富士、二鷹、三茄子」はよく知られていますが、そもそも初夢とはいつ見る夢なのか？調べてみました。

いろんな辞典を引いてみると、初夢とは新しい年を迎えて初めてみる夢。その年の吉凶判断する夢占い的一种ということが書かれています。さらに、古くは節分の夜（立春の朝）の夢を初夢としたが、暦の関係から大晦日や元日の夜になり、やがて「事始め」の正月2日の夜の夢を初夢とするようになった。とのこと。どうやら正月2日の夜というのが一般的のようです。

また、縁起のいい夢を見るためのおまじないとしてよく知られている「宝船の絵」を枕の下に敷いて寝る方法ですが、すでに室町時代にはこの風習が始まっていたとのこと。初夢への特別な関心の高さがうかがえます。

◆1月のイベント◆

百人一首で遊ぼう!

1月6日(水) 10:00～12:00



花岡公民館 第1研修室
「なかよしキラキラクラブ」
のみなさんが参加します。
どなたでも見学できます!

今月の展示

大人向け 冬の季節 あったか～い本
児童向け う し

おはなし会

1月13日(水) 10:30～11:00

花矢図書館 児童室

